

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
理念に基づく運営						
1. 理念の共有						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を全員が共有し、住み慣れた地域での安心した暮らしを継続できるよう幅広い支援を謳った理念を作り上げている		同左
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掘り下げて職員全体で話し合い、ケアの統一を図っている		同左
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会議、推進会議、ご家族の訪問時などに繰り返し分かりやすく伝えている また自治会へのアプローチにも努めている		同左
2. 地域との支えあい						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩や買物に出かけ近隣の方々と挨拶を交わしている 馴染みの美容院がある 近隣の方が手芸品をプレゼントしてくださる事もある		隣近所の方が立ち寄り遊びに来てくれるように関係性をさらに深めていきたい
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の盆踊りや餅つき大会などの行事、小学校運動会、保育クラブの子供達との交流を積極的に行っている		同左
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者の暮らしに役立つような情報を自治会と協働し発信して行くよう話し合っている。人材育成の貢献として実習生の受け入れを積極的に行っている		同左
3. 理念を実践するための制度の理解と活用						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行いまた外部評価の結果をミーティングで報告し、改善に向けて話し合いサービスの質の向上につなげている		同左
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では前回の検討事項の経過の報告や現在取り組んでいる事項の報告を行い参加メンバーから質問、意見、要望を受け積み上げていくようにしている		同左
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険課や包括支援センターへ折に触れて訪問し、現況の報告を行うとともに意見や指導を頂いている		同左
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度などは管理者が対応している またパンフレットを配布できるように準備し、必要な方には説明できる体制にある		職員についても勉強会を開くなど理解を深めるよう取り組んでいきたい

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	本社委員会組織に代表者を参加させてその内容をミーティングなどで話し合い理解し防止を図っている		同左
4. 理念を実践するための体制						
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な説明をおこない家族が疑問点を残さないように納得していただいている。利用者の状態変化により契約解除に至る場合は、十分な話し合いの段階や期間を経ている		同左
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし利用者本位の運営を心がけている		同左
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月担当スタッフより近況報告を送付している。家族の訪問時や電話にて報告している		同左
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会やアンケートにより意見や不満、苦情を聞き取りサービスの向上に積極的に反映させている		同左
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談やアンケートにより意見や要望を聞く機会を設けている。また、日頃から話しやすい雰囲気づくりに努めている		同左
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者は、状況に応じた対応ができるようシフトに入らず、柔軟な体制づくりを行っている		同左
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットごとに職員を固定化し、顔なじみの職員によるケアを心がけている。職員が代わる時は引継ぎの期間を十分にとりスムーズに移行できるように配慮している		同左
5. 人材の育成と支援						
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社または事業所外の研修に経験に応じてそれぞれ受講出来るような機会を確保している		同左
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	本社の他施設との交流はあるが、地域の同業者との交流は連絡会議などの参加時に限られている		地域の同業者とのネットワークづくりを充実させ連携をとっていきたい
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩室の設置、休暇の取得促進、親睦会などの機会を設けるなど、疲労やストレスを軽減させるように配慮している		同左
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	半年ごとに個人面談の場を設け半年間の評価と次の目標設定を一緒に話し合っている		同左
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にご自宅に訪問したり、見学に来ていただいたりして本人のお話をよく聞き安心してもらえるように努めている		同左
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談する家族のお話を良く聞き状況を把握して受け止めながら対応している		同左
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思い、状況等を確認し必要に応じて他のサービス機関の紹介を行っている		同左
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が見学に来ていただき雰囲気に慣れていただき、自宅へ訪問したり徐々に馴染みとなり安心感を持っていただくようにする		同左
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の知恵、昔の風習やその方が得意とすることなど教えて頂いている 時には子供や孫の役割となりいたわってもらったり、共に過ごし支えあう関係を築いている		同左
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしのなかの出来事や気づきの情報の共有に努め、共に本人を支える協力関係を築いている		同左
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族や本人の思いや状況を見極めながら、外出や外泊で家族と一緒に過ごす事を勧めたり、行事に家族を誘ったりしながら、より良い関係の継続に努めている		同左
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から利用している美容院に出かけたり、知人、友人が遊びに来られたり、関係が継続できるよう支援している		同左
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の相性や性格、能力などをよく把握し、支えあいができるような場面づくりや調整役をするなど支援している		同左
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスの利用が終了されても来訪されたりする家族もあるが、こちらからも出向くなどして関係性を継続してゆきたい		同左
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
1. 一人ひとりの把握						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で言葉や表情、お話などから把握に努めている 意思疎通の困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に自宅に訪問したり、本人や家族から聴き取り把握に努めている		同左
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ひとり一人の生活のリズムを理解するとともに日々の行動や動作から現状を総合的に把握するよう努めている		同左
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し						
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族には日頃のかかわりの中で思いや要望を聞き、必要な関係者と意見交換をおこない介護計画に反映させている		同左
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化に応じて、実情に応じたケアにつながるように話し合い見直しを行っている		同左
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況変化や行なったケアの工夫や気づきなどを個別に記録し職員全員が情報を共有できるよう確実に申し送っている		同左
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かしてその利用者にとって負担となる通院や入院の回避を図れるよう健康管理をしっかりとこない生活の継続を支援している		本人、家族の状況に応じて、通院や送迎など必要な支援をしている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアや小学校、保育クラブ、自治会、消防など地域資源を活用できるよう支援している		地域在住の職員より様々な情報を募り活用していきたい
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ボランティアによる映画鑑賞や訪問理容サービスを利用して頂いている		お話し相手や習い事など継続的に訪問してくれるボランティアを利用していきたい
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターに空室状況の報告や認定更新手続きなどの際、各種情報を頂いたりする等協働できる態勢を構築している		同左
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の往診医の他、地域の医療機関を希望される場合は希望に応じて対応している。診療情報提供書により情報を共有し関係を構築している。		同左
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医が毎週往診し本人の診察、薬の処方を行っている 職員に指示、助言もいただいている		同左
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤の看護職員を配置しており常に健康管理や状態変化に応じた支援を行っている 介護職員ともよく連携がとれている		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携し	入院時には本人の支援情報等を医療機関に提供し、定期的に見舞いに伺い回復状況を確認し早期の退院を支援している		同左
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に緊急時の対応の中でご家族の意向を確認するとともに、状況変化に応じて家族、医師、看護師を交えて話し合いを行って		同左
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアについて医療体制、職員の力量、本人や家族の意向など条件を整えていけるよう検討中である		同左
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに	移り先に出来る限りの情報を提供し、環境の変化によるダメージが最小となるよう支援している		同左
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
1. その人らしい暮らしの支援						
(1) 一人ひとりの尊重						
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の人格を尊重した言葉かけや対応ができるように会議などでよく話し合っている		日常的に常に確認しながら徹底していく
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	表情や言動を注意深く見守ることで、気持ちを読み取り、その時々に応じた声かけや対応をおこない本人が決めやすい場面作りをしている		同左
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活のリズムが保たれるように配慮しながら、個々の生活のペースや本人の気持ちを尊重した暮らしを支援している		同左
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	近所の美容院に行きそれぞれの好みに合った髪型をしている 本人の好みの服装が楽しめるように本人の選択を尊重している		同左
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が同じ食事を一緒に食べ楽しい雰囲気づくりに努めている 一人ひとりの咀嚼、嚥下機能や健康状態にあわせた調理方法の工夫をしている。下ごしらえ、盛り付け、片づけなど、できることを一緒におこなっている		食事をもっと楽しんでいただけるように利用者と相談しながらいろいろな取り組みを工夫していきたい
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの好きな飲み物やおやつなどを職員は把握し、個別に楽しめるように支援している		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を利用し、個別の排泄パターンを把握しトイレでの排泄を促している。羞恥心やアップライバシーに配慮したさりげない誘導や介助を行っている ひとりひとりに合った下着を使用しその時々状態に合わせて使い分けている		同左
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴の機会を設けることで、入浴したい日に入浴でき、入浴の順番なども本人の希望を尊重している 入浴を拒む人に対してはタイミングや不安を無くすような声かけや対応を工夫している		同左
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中を活動的に過ごすことで生活リズムをつくり、夜間の安眠につなげている		同左
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の盛り付け、片づけ、洗濯物たたみ、掃除、お花の手入れなど一人ひとりにあった活躍できる場を提供し、感謝を伝えて自信を高められるような働きかけをしている		一人ひとりに合った楽しみや気晴らしの場面づくりをしその方らしく暮らしていただけるよう支援を広げていきたい
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	その方の希望や力に応じて小額のお金を財布にもって頂いている		同左
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買物、外食、自治会の行事への参加など外出の支援をおこなっている		外出先が固定化しないように色々な所へ出かけられるよう支援していきたい
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望をききとり家族に伝えて協力を得、実現できるように支援している		一人ひとりの思いや願いが叶えられるよう引きつづき支援していきたい
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて手紙を書いたり電話をかけられるよう支援している		同左
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問でき居心地よく過ごせるような雰囲気づくりに配慮している		行事などにもできるだけ多く参加して頂けるよう働きかけていく
(4) 安心と安全を支える支援						
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	本社の委員会に出席した委員を中心に職員間で身体拘束廃止の理念について話し合い正しく認識し身体拘束のないケアを実践している		同左
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階の出入り口は各家庭と同様に施錠しているが、外出の希望があるときは一緒についていくなどの支援をしている		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に全員の把握が出来やすい場所で職員が見守りや記録を行っている 夜間も定時の安否確認とともに、居室が見通せる位置にいてすぐに対応できるよう配慮している		同左
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	決められた場所に保管、管理しているが、手洗い用の石鹸など身近に使用するものは名前をつけるなどして危険のないように置いている		同左
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	報告書をもとに職員間で話し合い再発防止に努めている		同左
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応についてのマニュアルを作成し、周知徹底を図っている		同左
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回入居者様を含め、消防署員の指導の下避難訓練等を実施している また運営推進会議を通じ地域の協力を得られるように働きかけている		同左
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族の訪問時や近況報告にて起こりうるリスクについての報告や対応策を話し合っている		同左
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、排泄チェック、水分食事摂取量などを記録し些細な変化も見逃さないよう早期発見とすばやい対応にあたっている		同左
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師からの指示、薬の説明書により薬の内容を承知しており、薬の保管や服薬の確認を徹底し誤薬を防ぐ取り組みをしている		同左
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取を促したり乳製品を取り入れ適度な運動や腹部マッサージにより便秘予防に配慮している		同左
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を理解し、一人ひとりに合った方法で毎食後口腔ケアを行い口腔の清潔を支援している		同左
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量をチェック表に記録し把握している		同左
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関するマニュアルを作成し予防早期発見早期対応に努めている インフルエンザは職員共に予防接種を受けている		同左
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾などはその都度消毒し清潔にしている 新鮮で安全な食材の使用と管理に留意している		同左
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
(1)居心地のよい環境づくり						
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花を飾ったりして親しみやすい雰囲気づくりに配慮している		同左
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家事の音、食事の匂い、季節の花、心地よい音楽、適切な照明など、居心地の良い空間づくりに配慮している		同左
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子をとところどころに設置し自由に過ごせるようにしている		同左
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれが好みや使い慣れたベッドや家具を持ち込み自由に装飾品などを飾って居心地よく過ごせるように工夫している		同左
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	トイレには空気洗浄器を設置し、匂いがこもらないようにしている。冷暖房の温度調節は適切におこなっている。冬場には加湿器を設置している		同左
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ浴室に手すりを設置し安全や使いやすさを工夫している		同左
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱を招くような状態は放置していない		同左
87		建物の外周りや空間の活用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先にプランターを置き水遣りをしたり季節の花を植えたりしている		同左

(様式1)

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者がころへ出かけている 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない